

農 研 速 報

2025 年 7 月 31 日発行
茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
TEL: 0297-62-0206 FAX: 0297-64-0667

大豆の生育状況（7月 25 日現在、龍ヶ崎市）

地 域 名	生育ステージ		生育（作柄・品質）概況	問 題 点	備 考
	本 年	対 平 年 遅 速			
茨 城 県 （龍ヶ崎市）	里のほほえみ 第 11 本葉 展開期	平 年 並	龍ヶ崎市における6月第6半旬～7月第4半旬の気象および大豆の生育概況は、下記のとおりである。 【気象】 気 温：平均気温はかなり高かった（平年差+1.9℃、図1）。 降 水 量：平年比 93%と平年並であった（図2）。 日照時間：平年比 145%とかなり長かった（図3）。 【生育】 7月 25 日調査時点での地上部の生育は、「里のほほえみ」は平年並～やや上回った。「納豆小粒」は平年並であった。品種別の調査項目の平年値との比較は以下のとおり。 <u>里のほほえみ</u>：主茎長、主茎節数、分枝数、地上部生体重は平年並で、茎の太さはやや太かった。 <u>納豆小粒</u>：主茎長、主茎節数、分枝数、茎の太さ、地上部生体重は平年並であった。 【注釈】 平年値は直近5ヵ年分（令和元年～5年、令和6年は天候不順により播種期が 13 日遅れたため除外）のデータ平均値。	なし	●中耕・培土● ・例年、1回目は第4本葉展開期に子葉節まで、2回目は第7本葉展開期に初生葉節まで実施する。本年は、降雨の影響により1回目（7月 23 日）のみ実施した。 ○紫斑病、葉焼病、莢害虫等の発生に注意し、適期防除に努める。 ○開花期以降の水分不足は着莢数の減少につながるため、必要な場合は灌水を行う。 ○病害虫の発生予察については、病害虫防除部のホームページを参照する。 （http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/byobo/）
	納豆小粒 第 10 本葉 展開期	平 年 並			

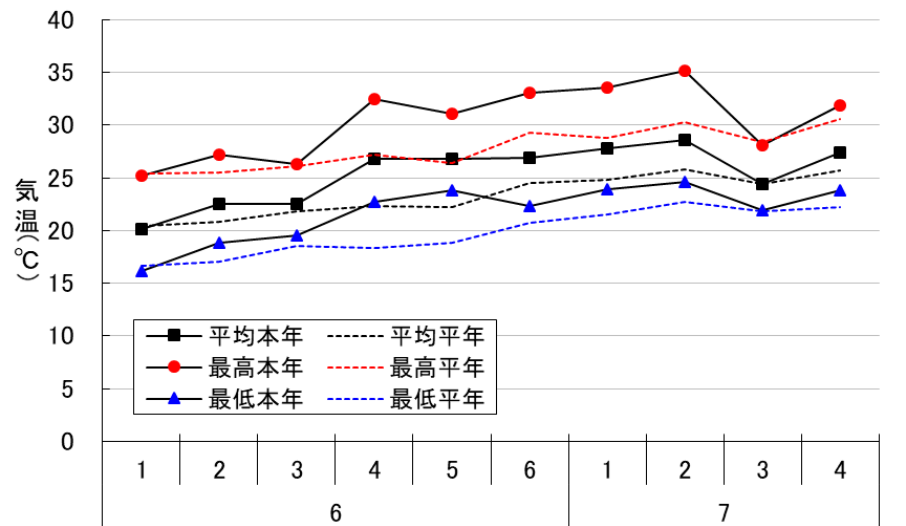


図1 半旬別最高・最低・平均気温の推移 (月・半旬)

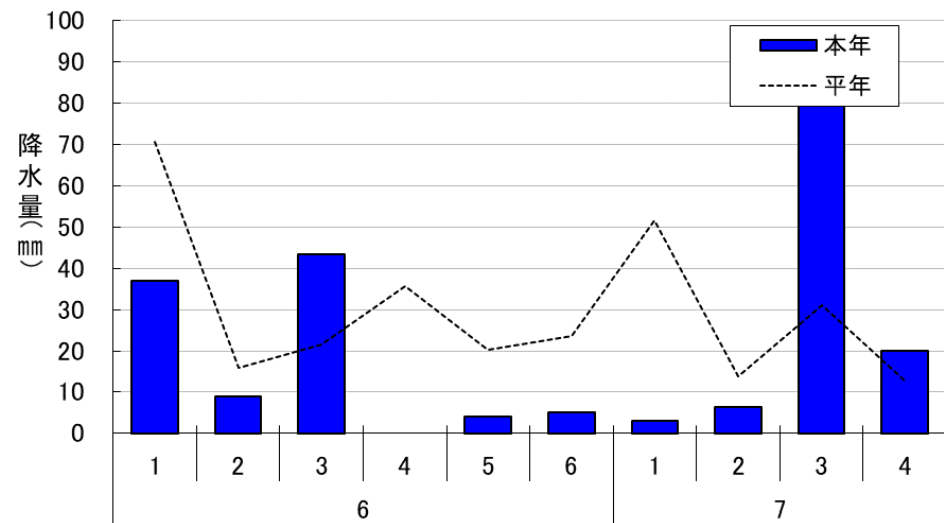


図2 半旬別降水量の推移 (月・半旬)

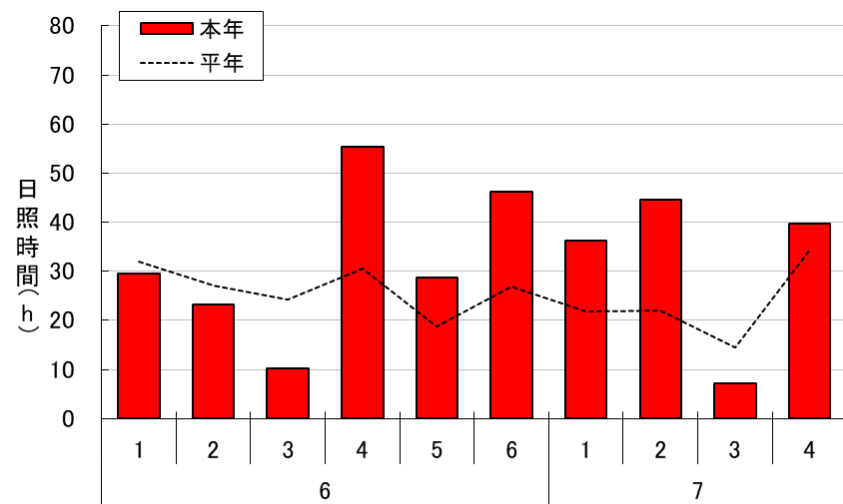


図3 半旬別日照時間の推移 (月・半旬)

表 1 輪換畑における大豆の生育（龍ヶ崎市、水田利用研究室）

品 種	主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ			地上部生体重		
	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)
里のほほえみ	37	94	102	11.1	102	109	1.0	91	89	9.6	107	116	58.8	85	107
納豆小粒	29	72	93	10.8	88	104	1.4	52	86	6.6	89	110	32.0	48	85

- 【耕種概要】
- 1) 圃場来歴：転換 2 年目（前作麦）
 - 2) 播種期：6 月 20 日
 - 3) 播種密度：11.1 株/㎡（畦間 60cm、株間 15cm）1 本立て
 - 4) 基肥：N-P₂O₅-K₂O＝0.3-1.2-1.2kg/a
 - 5) 中耕・培土：7 月 23 日（初生葉節まで実施）
- 【注釈】
- 1) 生育調査は 7 月 25 日に実施
 - 2) 茎の太さは子葉節と初生葉節の中間で最も太い部分を測定
 - 3) 地上部生体重は子葉節で切断した地上部の重さ
- 【平年値】
- 令和 1 年～令和 5 年播種の 5 ヶ年の平均値（令和 6 年は天候不順により播種期が 13 日遅れたため除外）



写真1 所内大豆の生育状況（7月 25 日撮影、左から里のほほえみ、納豆小粒）

気象概況および生育状況における表現について

平年値（過去5年間の平均値）との違いの程度を、「低い（少ない）」、「平年並」、「高い（多い）」等の階級区分で表しています。
各階級の幅は、下図のように、統計期間における出現率が等分（それぞれ33%）となるように決めています。
さらに、「低い（少ない）」、「高い（多い）」については、補足的表現として下図に示す出現率となるように「やや」、「かなり」と表しています。

